

# イーストスプリング・ アジア・ソブリン・オープン

追加型投信／海外／債券



※1: 分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。 ※2: アジア各国地域の債券利回りは、先進国の利回り水準と比べて、相対的に魅力的な水準となっています。

## 当ファンドの主なリスク

為替変動リスク/金利変動リスク/信用リスク/カントリーリスク/流動性リスク

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券を実質的な投資対象とします。このため、一般的にわが国の預貯金および国債等と比較して高いリスクがありますので、ご購入時の価額を下回ることもあります。

お申込みの際は最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をご覧ください。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求、お申込みは

設定・運用は

eastspring  
investments

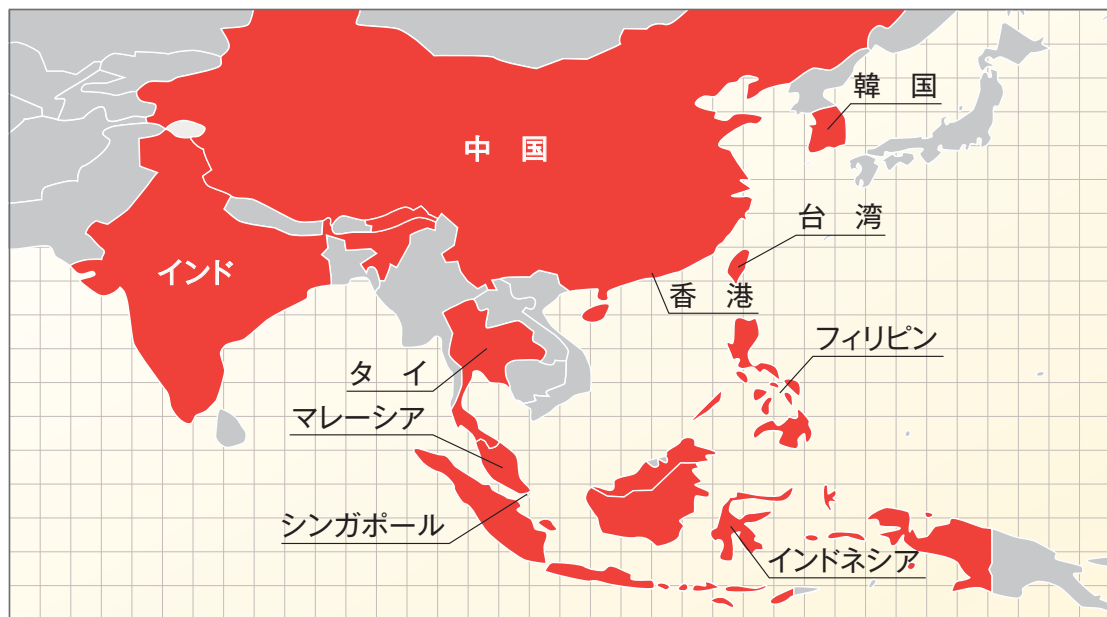
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号  
加入協会 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

PCAアセット・マネジメント株式会社は、2012年2月14日付けで商号を「イーストスプリング・インベストメンツ株式会社」に変更いたしました。

# アジア投資の魅力

## 世界経済の成長をけん引するアジア

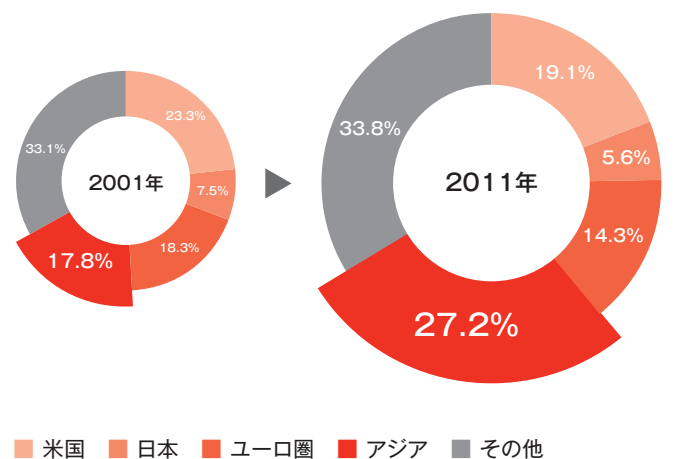
当ファンドは下記のアジア各国・地域の現地通貨建てソブリン債券を実質的な主要投資対象とします。これらの地域は、先進国よりも相対的に高い経済成長を遂げており、世界経済のけん引役として年々存在感を高めています。



各国・地域の実質GDP成長率の推移

| 国・地域名  | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年-2016年の平均 |
|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 中国     | 9.2%  | 10.3% | 9.5%  | 9.4%           |
| 台湾     | -1.9% | 10.9% | 5.2%  | 4.9%           |
| 香港     | -2.7% | 7.0%  | 6.0%  | 4.4%           |
| インド    | 6.8%  | 10.1% | 7.8%  | 8.0%           |
| インドネシア | 4.6%  | 6.1%  | 6.4%  | 6.8%           |
| 韓国     | 0.3%  | 6.2%  | 3.9%  | 4.1%           |
| マレーシア  | -1.6% | 7.2%  | 5.2%  | 5.1%           |
| フィリピン  | 1.1%  | 7.6%  | 4.7%  | 5.0%           |
| シンガポール | -0.8% | 14.5% | 5.3%  | 4.2%           |
| タイ     | -2.4% | 7.8%  | 3.5%  | 4.9%           |
| 日本     | -6.3% | 4.0%  | -0.5% | 1.8%           |
| 米国     | -3.5% | 3.0%  | 1.5%  | 2.8%           |
| ユーロ圏   | -4.3% | 1.8%  | 1.6%  | 1.5%           |

世界におけるアジアの名目GDPシェア (購買力平価ベース\*)



\*購買力平価ベースとは  
各国の物価水準を調整・加味した通貨換算レートを用いて統計上の数値を見る手法

出所:IMF世界経済見通しデータベース(2011年9月)のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。一部予測値。  
アジア:中国、台湾、香港、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの10カ国。  
ユーロ圏:IMFの定義に基づく。



※上記は作成時点において各種データに基づき作成したものです。必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性もあります。さらに、将来の運用成果をお約束するものではありません。当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン 当ファンドのリスクについて

## 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドは、値動きのある有価証券を実質的な主要投資対象とするため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

### <基準価額の変動要因となる主なリスク>



#### **為替変動リスク** 為替レートの変動による外貨建資産の価格変動リスク

当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いませんので、為替レートの変動の影響を受けます。為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。



#### **金利変動リスク** 金利変動による債券の価格変動リスク

一般に、金利が上昇した場合には債券の価格は下落するため、基準価額の下落要因となります。当ファンドは主に債券に実質的に投資を行いますので、金利変動による債券価格の変動の影響を受けます。



#### **信用リスク** 債券の発行者の債務不履行(元本や利子の支払い不能)リスク

債券の価格は、発行者の経営・財務状況によっても変動します。特に発行者に債務不履行やその可能性が生じた場合には、債券の価格は大きく下落する可能性があり、基準価額の下落要因となります。



#### **カントリーリスク** 投資対象国・地域の政治・経済・社会情勢の変化による有価証券の価格変動リスク

新興国の金融市場は先進国に比べ、安定性、流動性等の面で劣る場合があります。政治、経済、国家財政の不安定要因や法制度の変更等に対する市場感応度が大きくなる傾向があります。これに伴い、投資資産の価格が大きく変動することや投資資金の回収が困難になることがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。



#### **流動性リスク** 市場における有価証券の取引量が少なく希望価格で売却できないリスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。マザーファンドは、複数のベビーファンドの資金を運用する場合があるため、他のベビーファンドからのマザーファンドへの資金流入の動向が、基準価額の変動要因となる場合があります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情(流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付したお申込みの受付を取消すことがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

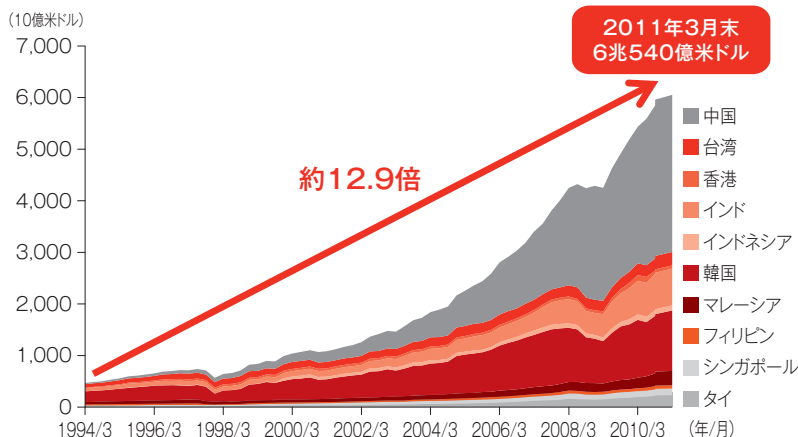
※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# アジア債券の魅力

## Point 1 拡大するアジア債券市場

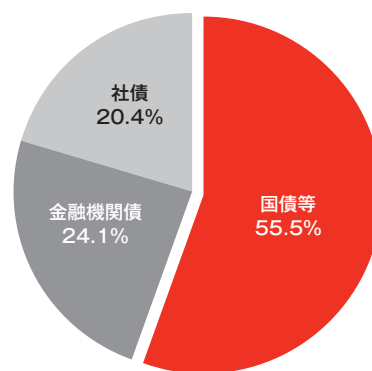
1997年のアジア通貨危機以降、アジア地域では、現地通貨建てで中長期的に安定した資金調達を可能にする債券市場の育成が急務となりました。現在、各国が協力して債券市場の育成に取り組んでいます。

アジア各国・地域の国内債券発行残高推移\*1  
(1994年3月期～2011年3月期の四半期ベース)



出所: BIS Quarterly Review : September 2011のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成(データはDomestic debt securities の値)。  
\*1 グラフはいずれも当ファンドの主要投資対象国・地域の発行残高を示しています。

アジア各国・地域の種別別国内債券発行残高比率\*2  
(2011年3月末現在)

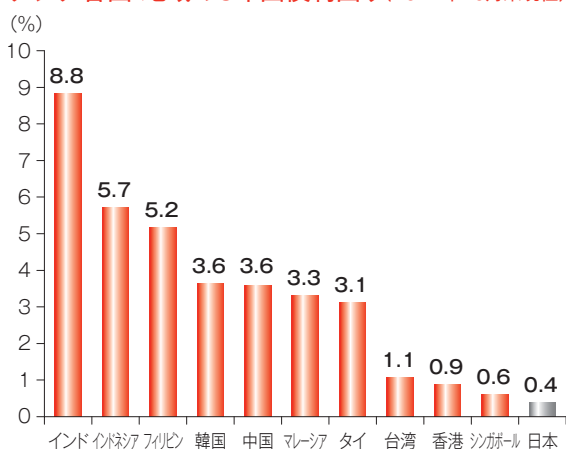


出所: BIS Quarterly Review : September 2011のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成(データはDomestic debt securities の合計値)。  
\*2 上記グラフの発行残高比率は、当ファンドの主要投資対象国・地域の国内債券発行残高の合計額を100%として算出しています。

## Point 2 魅力的な利回り水準

アジア各国・地域の国債の利回りは、日本国債の利回りと比較して相対的に魅力的な水準となっています。

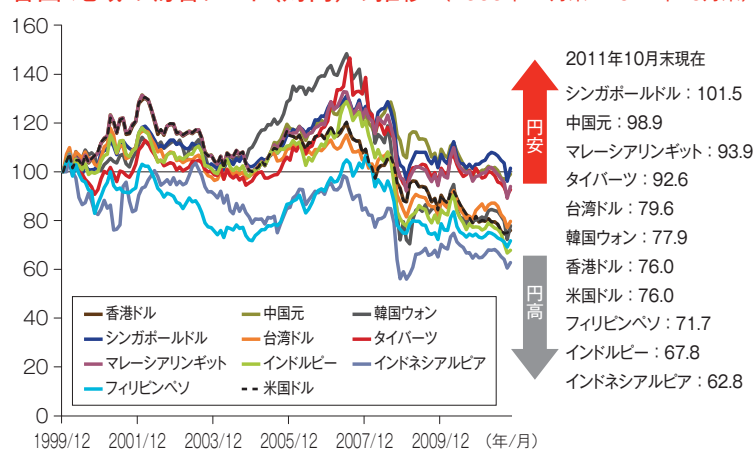
アジア各国・地域の5年国債利回り(2011年10月末現在)



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成(データは現地通貨建て債券の利回り)。

### 【ご参考】アジアの為替動向について

各国・地域の為替レート(対円)の推移\*(1999年12月末～2011年10月末)



\* 1999年12月末を100として指数化したものです。



※上記は作成時点において各種データに基づき作成したものです。必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性もあります。さらに、将来の運用成果をお約束するものではありません。当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目録見書)」をご覧ください。

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債券(国債、政府機関債および国際機関債)に実質的に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、主に利子・配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。

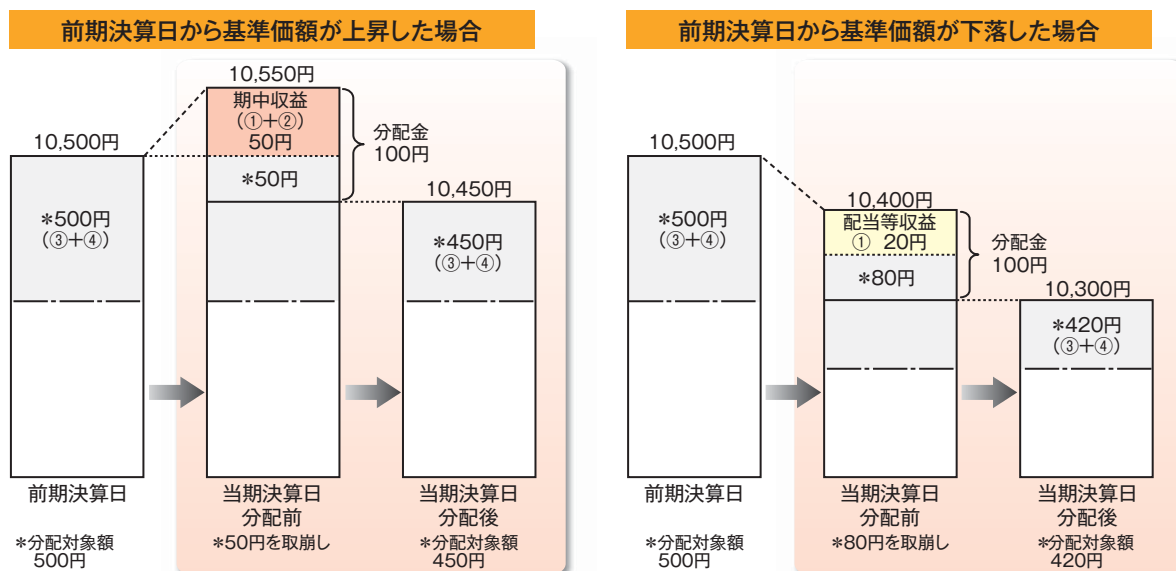
〔収益分配金に関する留意事項〕

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



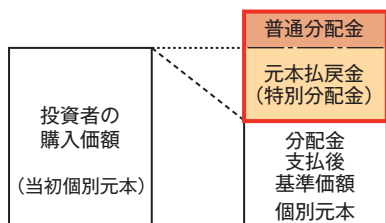
(注) 分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①経費控除後の配当等収益
- ②経費控除後の売買益・評価益
- ③分配準備積立金
- ④収益調整金

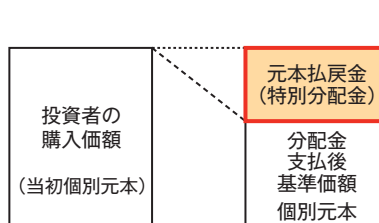
※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(注) 普通分配金に対する課税については、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。



※上記は作成時点において各種データに基づき作成したのですが、必ずしもその情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後記載内容に変更が行われることもあります。また、記載内容が将来期待通りにならないことで運用環境が悪化する可能性もあります。さらに、将来の運用成果をお約束するものではありません。当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープンの特色

## ■日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債券（国債、政府機関債および国際機関債）を実質的な主要投資対象とします。

主として、日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債券に実質的に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。ただし、ソブリン債券以外の債券およびアジアの現地通貨以外の通貨建ての債券に投資を行う場合があります。

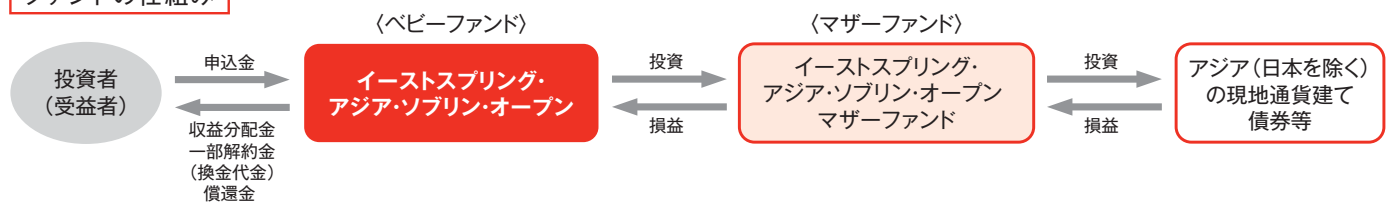
※ソブリン債券とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称で、国際機関が発行する債券も含まれます。

<主要投資対象国・地域> 香港、台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、中国（2011年11月末現在。主要投資対象国・地域は、今後、変更される場合があります。）

## ■マザーファンドの運用は、イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが行います。

イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドに、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。ただし、国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます。

### ファンドの仕組み



当ファンドは、ファミリーファンド方式を採用し、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド」への投資を通じて、主として日本を除くアジアの現地通貨建てのソブリン債券に投資します。

「ファミリーファンド方式」とは、投資者のみなさまはベビーファンドに投資し、ベビーファンドはその資金を主としてマザーファンドに投資して、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

## ■原則として、為替ヘッジは行いません。

実質的に組入れた外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行いません。そのため、為替相場の変動の影響を受けることになります。

## ■毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。

原則として、毎決算時に、主に利子・配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。

3月、9月の決算時には、利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配を行います。

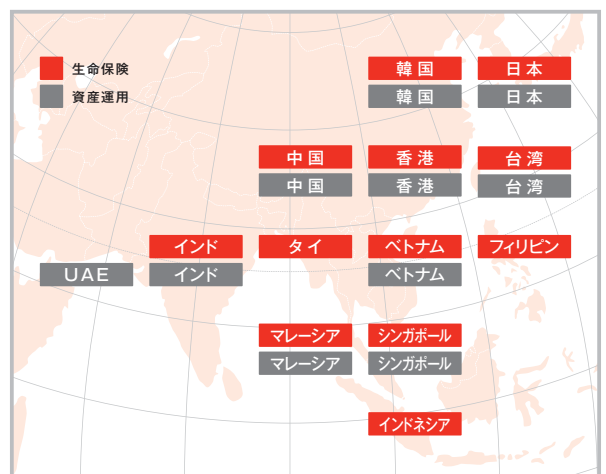
分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# イーストスプリング・インベストメンツ株式会社について

## 160年以上の歴史を有する英国の金融サービスグループの一員です。

- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。
- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。
- 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2011年11月末現在、アジアでは13の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。最終親会社グループの運用資産総額は、2011年6月30日現在、約3,495億ポンド（約45兆円、1ポンド=128.76円）に上ります。



当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券を実質的な投資対象とします。当ファンドの基準価額は、実質的に組み入れた有価証券の値動きのほか、有価証券の発行者の経営・財務状況の変化および格付けの変更等の外部評価の変化、為替相場の変動等による影響を受けることから、投資元本を下回ることがあります。

## 投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項

- ◇投資信託は、預金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ◇過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ◇投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまの負担となります。
- ◇ご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。



当ファンドのリスクは3ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は8ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

# イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン 追加型投信／海外／債券

**お申込メモ** 当ファンドの詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

|                   |   |
|-------------------|---|
| 購入単位              | 販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。   |
| 購入価額              | お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。   |
| 購入代金              | 購入代金はお申込みの販売会社の定める日までにお支払いください。   |
| 換金単位              | 販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。   |
| 換金価額              | 換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額とします。   |
| 換金代金              | 換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。  |
| 購入・換金申込受付不可日      | 営業日が以下の日のいずれかにあたる場合は、購入・換金のお申込みはできません。<br>① シンガポールの金融商品取引所の休場日<br>② シンガポールの銀行休業日                                      |
| 申込締切時間            | 原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込分とします。   |
| 換金制限              | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。  |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、すでに受付けたお申込みの受け付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。          |
| 信託期間              | 約10年(平成18年4月25日から平成28年4月22日まで)  |
| 繰上償還              | 受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合、信託終了前に信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、委託会社の判断により繰上償還を行う場合があります。 |
| 決算日               | 原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日)   |
| 収益分配              | 原則として毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。     |
| 信託金の限度額           | 1,500億円   |
| 公告                | 受益者に対する公告は、日本経済新聞に掲載します。  |
| 運用報告書             | 委託会社は、年2回(4月および10月)の決算時および償還時に運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。   |
| 課税関係              | 課税上は、株式投資信託として取扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。   |

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 3.15% (税抜3.0%) を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。
- 信託財産留保額 換金の受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対して年率1.554% (税抜1.48%) を乗じて得た額が毎日費用として計上され、毎計算期末または信託終了時に信託財産から支払われます。

| 配分 | 委託会社 | 年率0.7875% (税抜0.75%) |
|----|------|---------------------|
|    | 販売会社 | 年率0.7350% (税抜0.70%) |
|    | 受託会社 | 年率0.0315% (税抜0.03%) |

※委託会社の報酬には、マザーファンドの運用の委託先への報酬が含まれます。

- その他の費用・手数料 有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、監査費用等を信託財産よりご負担いただきます。

※「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。

\*手数料等の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法の概要は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人 委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

|        |  |
|--------|--|
| 委託会社   | イーストスプリング・インベストメンツ株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会<br>当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。  |
| 受託会社   | 住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)<br>住友信託銀行株式会社は、関係当局の認可等を前提に、平成24年4月1日付けで中央三井信託銀行株式会社および中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、「三井住友信託銀行株式会社」に商号を変更する予定です。<br>当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。                             |
| 販売会社   | 販売会社に関しては、次の照会先までお問合せください。<br>イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 TEL.03-5224-3400<br>(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)<br>ホームページアドレス www.eastspringinvestments.co.jp<br>当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。 |
| 投資顧問会社 | イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッド<br>当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社として、委託会社よりマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注等を行います。  |